

どうしんまなbell、GoGoまなbellへのご意見、ご要望をお寄せください。

E-mail doshin-kyoiku@hokkaido-np.co.jp

第2回 まなbellでつくろう！ 新聞コンクール

どうしんまなbellで、自由な視点、切り口でオリジナルの新聞を作り、応募してみませんか。新聞作りの体験を通して「考えを文章にまとめる力」「言葉を選び要約する力」を育みましょう。

応募要項

新聞の
テーマ

学校行事のまとめや地域の紹介、興味を持っていることなど
自由なテーマで作ってください。

- 例1 学校行事のまとめ（修学旅行、宿泊研修、運動会、学習発表会など）
- 例2 地域の紹介（住んでいる町や通っている学校の紹介など）
- 例3 夏休みに取り組んだこと、趣味、興味を持っていること



対象

北海道内の
小学4年生～6年生

募集
期間

2025年6月2日(月)～
10月6日(月)
※郵送消印、メール送信日有効

応募条件

応募は1人につき1作品です

「まなbell」の新聞テンプレート4種のうち、いずれかを使って制作した作品が対象です
※手書き、ペンなどで色を付ける、実際の写真を貼り付けるなどの加工は不可
※同学年の場合、複数人での共同制作・応募は可（人数制限なし）
※申し込みはクラス、学年、学校単位（クラス全員の参加を必須としない）

応募方法 下記①、②の手順で学校を通じて応募してください。

① 専用フォームからエントリー

URL、またはQRコードから専用のエントリーフォームにアクセスし、必要事項を入力してください。

<https://x.gd/ugPi2>



② 作品（新聞）を送付

作品はA4サイズでカラー印刷し、下記「新聞コンクール係」宛てに郵送してください。

〒060-8711 札幌市中央区大通東4丁目1
北海道新聞社 みらい教育推進室 新聞コンクール係

- ※印刷、郵送が難しい場合は作品PDFデータのメール送付でも受け付けます。
- ※最終審査まで作品の「一時保存データ」「PDFデータ」を保存してください。

作品をPDFデータで送付する場合は、下記アドレス宛てに送ってください。

doshin-kyoiku@hokkaido-np.co.jp

また、作品のファイル名は、「学校名」「学年」「氏名」がわかるようにしてください。例) みらい小学校4年_北海太郎

主催：北海道新聞社 後援：デジタル教材「まなbell」導入自治体
お問い合わせ：北海道新聞社 みらい教育推進室
TEL 011-210-5802 (平日9:30～17:30)

賞と副賞

- ★最優秀賞 3作品(各学年1) 図書カード(1万円)
- ★優秀賞 18作品(各学年6×3) 図書カード(5千円)
- ★入選 80作品程度(全ての学年対象) 図書カード(1千円)
- ★学校賞 5校程度(※) 学校教材ギフト券(1万円分)

※参加児童数や入賞者数を勘案して選定
最優秀賞、優秀賞の受賞者には賞状、学校賞の受賞校には盾を贈ります。

発表 2025年12月上旬

※発表は最優秀賞、優秀賞、学校賞のみ。入選は副賞の発送をもってお知らせ
※発表媒体は、北海道新聞、まなぶんデジタル、「GoGoまなbell」を予定

賞品発送 2025年12月中旬

注意事項

- ・作品(新聞)の「発行元」欄に必ず「学校名」「学年」「氏名」を記載してください。
- ・作品はオリジナルで未発表のものに限り、チャットGPTなどの生成AIの使用は不可とします。
- ・使用する写真はオリジナルのものに限りです。
- ・ネットや書籍などからの無断転載(コピー)は不可とします。
- ・資料の転載や文章を引用した場合は、出典を明記してください。
- ・入賞、入選作品の著作権は主催者に帰属します。優秀作品は北海道新聞社の媒体で紹介するほか、後援自治体や学校のホームページなどで紹介・使用されることがあります。
- ・応募作品について著作権・肖像権侵害などで係争が生じた場合、主催者は責任を負いません。
- ・作品公表の際には、明らかな誤字・脱字等は修正させていただくことがあります。
- ・記載いただいた個人情報主催者が適正に管理し、受賞者への連絡、作品に関する問い合わせ、取材、受賞者発表など本コンクールに関連することのみに使用します。
- ・応募作品は返却しません。

第1回まなbellでつくろう! 新聞コンクール(2024年度)

最優秀賞受賞者の声

本物の新聞みたいで、達成感があった!

田中学園立命館慶祥小学校
4年 宮島 怜子さん



👑ニセコ町新聞

道の駅で地元の人にインタビューしたり、ラフティングをしたりしたニセコ研修をまとめ、新聞にしました。

農業に興味があり、町の農家の方の努力や苦勞、環境への配慮などポイントを絞り、農業の言葉をわかりやすく盛り込みました。経験したことを具体的に書き、読んだ人も同じ体験をした気持ちになるように工夫しました。記事数を絞り、文章を短くまとめるのが難しかったです。図に描いて頭を整理して作りました。

4年1組担任 佐々木智和先生ちより

新聞を一度作り終えてから応募することを伝えると、多くの児童が「もう少し直したい」とさらに練り上げ工夫をしていました。新聞作りでは、子どもたちが自ら興味をもったことを中心に書かせ、「はじめ・中・おわり」の構成を意識して要約するように伝えています。

個性がある、
観点が面白いと
言われた!

札幌市立美園小学校
6年 宮園 六花さんりっか

👑修学旅行と木刀



6年2組担任 井上愛蘭先生まなか

夏休みに「新聞コンクールに出品する作品を作る」という課題を出し、一つのテーマを詳しく調べ深く学べるよう、テーマを絞るように指導しました。

「せっかく作るなら賞を狙いたい!」と取り組み、どうすれば印象に残る作品になるのか、よく考えて記事を書く子がたくさんい

特に見出しを
工夫したよ!

鷹栖町立鷹栖小学校
5年 坂本 璃奈さんりな



👑宿泊研修新聞

6月の宿泊研修を新聞にまとめました。わかりやすい表現を探し、心に残っていることや、出来事を文章にまとめることが難しかったです。見てほしいのは、時間をかけて考えた、読み手が気になるような見出しです。友達に「見出しが上手だね」と言われ、うれしかったです。

5年1組担任 中山敬史先生たかふみ

総合的な学習のまとめに、国語科「新聞の読み方」で学んだことを活かし、宿泊研修の新聞を制作。応募のきっかけは、テンプレートの使いやすさと、学級全員で目標に向かって取り組む経験を積みたかったからです。自ら記事を書くことで、情報を伝える人たちの立場で読めるようになる良さがあると考えています。

別の総合学習では、まなbellで新聞にまとめる子ども。入賞した子を見て、励みになり、次年度も応募したいと思う子が出てきました。文字や絵を書くことが苦手でも簡単に新聞を作ることができ、校正もしやすく、取り組みやすいです。

「読んでみたい」「面白そう」と思ってもらえるように、みんなが抱いていそうな疑問から答えを導きだす構成を心掛けました。特に見てほしいのは、「越後谷さんに聞いた!」。「なぜ木刀を買うのか」は、自分の経験に基づいて書いたもので、共感してもらえたらうれしいです。

友達から「なんでそんなの買うの?」と聞かれ、良さを知ってほしくて木刀をテーマにしました。あえてテーマを一つに絞り、いろいろな面からアプローチ。ネットからの引用は、許可をもらうのが大変でしたが、楽しかったので、別のテーマでも新聞を作りたいです。

ました。自分の作品が誰かに評価されることが子どもたちには新鮮で、モチベーションになっていたと思います。

まなbellの新聞は、学習のまとめでよく活用しています。Googleスプレッドシートなどで作った表やグラフを簡単に取り込めるのも魅力の一つだと思います。

check!



最優秀賞の受賞作品、総評、審査評は、まなbellのトップ画面から見られます

優秀賞作品も

バックナンバー vol.8

道新こども新聞
ウェブ版

まなぶんデジタル

情報ひろば

GoGoまなbell